

2013年度セキュリティ市場調査報告書より (市場調査WG活動成果発表)

JNSA調査研究部会
セキュリティ市場調査WG

発表者： 浜 義晃
(株式会社イーセクター)

2014年 6月10日 JNSA活動報告会

JNSA市場調査の概要



JNSA独自の調査活動

変遷:

- 2004年から継続
- 2009年まではMETIの委託事業・・・グローバル調査が入り継続を断念
- 2010年度まではアンケートベースの蓄積を利用
- 現在は、調査会社データを統計分析＋WGメンバーの情報交換を元に作成

目的:

- セキュリティ市場とセキュリティ産業の姿を継続的に捉える
- 調査結果をJNSA会員企業のそれぞれの事業に役立ててもらう
- WGメンバーが活動を通じ、交流し、調査の手法を学び、見識を広げる

**会員の、会員による、会員のための
JNSAセキュリティ市場調査！**

セキュリティ市場調査WG メンバーリスト



ワーキンググループリーダー

2014年5月30日現在

※木城 武康

株式会社日立システムズ

ワーキンググループ活動メンバー

※菅野 泰彦

アルプスシステムインテグレーション株式会社

※清水 聡史

株式会社イーセクター

※浜 義晃

株式会社イーセクター

※浜藤 直嗣

株式会社イーセクター

※福岡 かよ子

株式会社インテック

佐々木 謙一

株式会社インテリジェントウェイブ

栗田 亮子

NTTソフトウェア株式会社

※勝見 勉

株式会社情報経済研究所

※佐藤 克彦

三菱電機インフォメーションシステムズ株式会社

安武 千尋

株式会社ユービーセキュア

※土屋 日路親

サブスクライバー

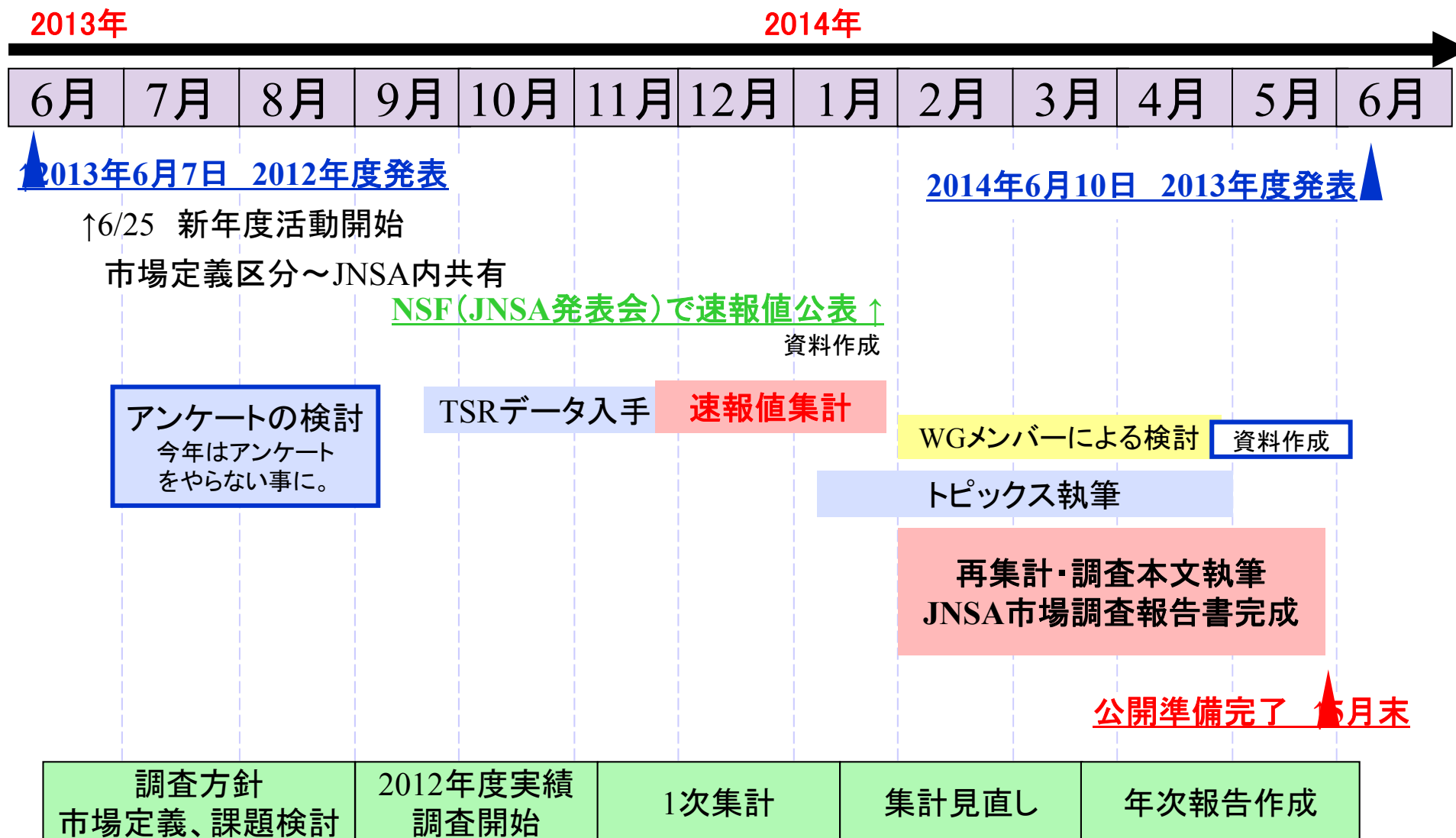
※蜂巣 悌史

サブスクライバー

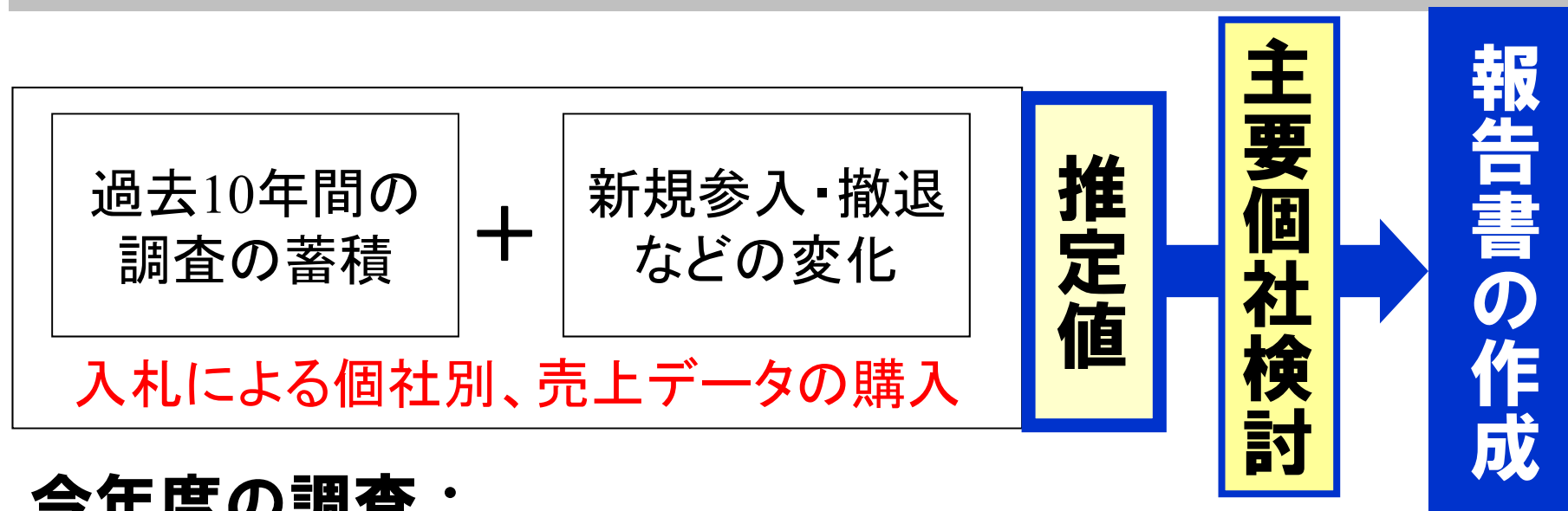
※: 報告書作成 主要メンバー

JNSA市場調査の概要

■年間活動スケジュール■



2013年度の調査の手法



今年度の調査：

- 調査活動期間： 2013年6月～2014年5月末
- 調査方法： アンケート調査はしない（**回収率が悪く参考にならない**）
各種統計・調査資料の参照
企業の事業概要・規模推定（対象数：470社）
※主要企業個別ヒアリング→WGメンバーによる検討会に変更
- 対象期間： **2011, 2012年度実績 2013年度見込み 2014年度予測**

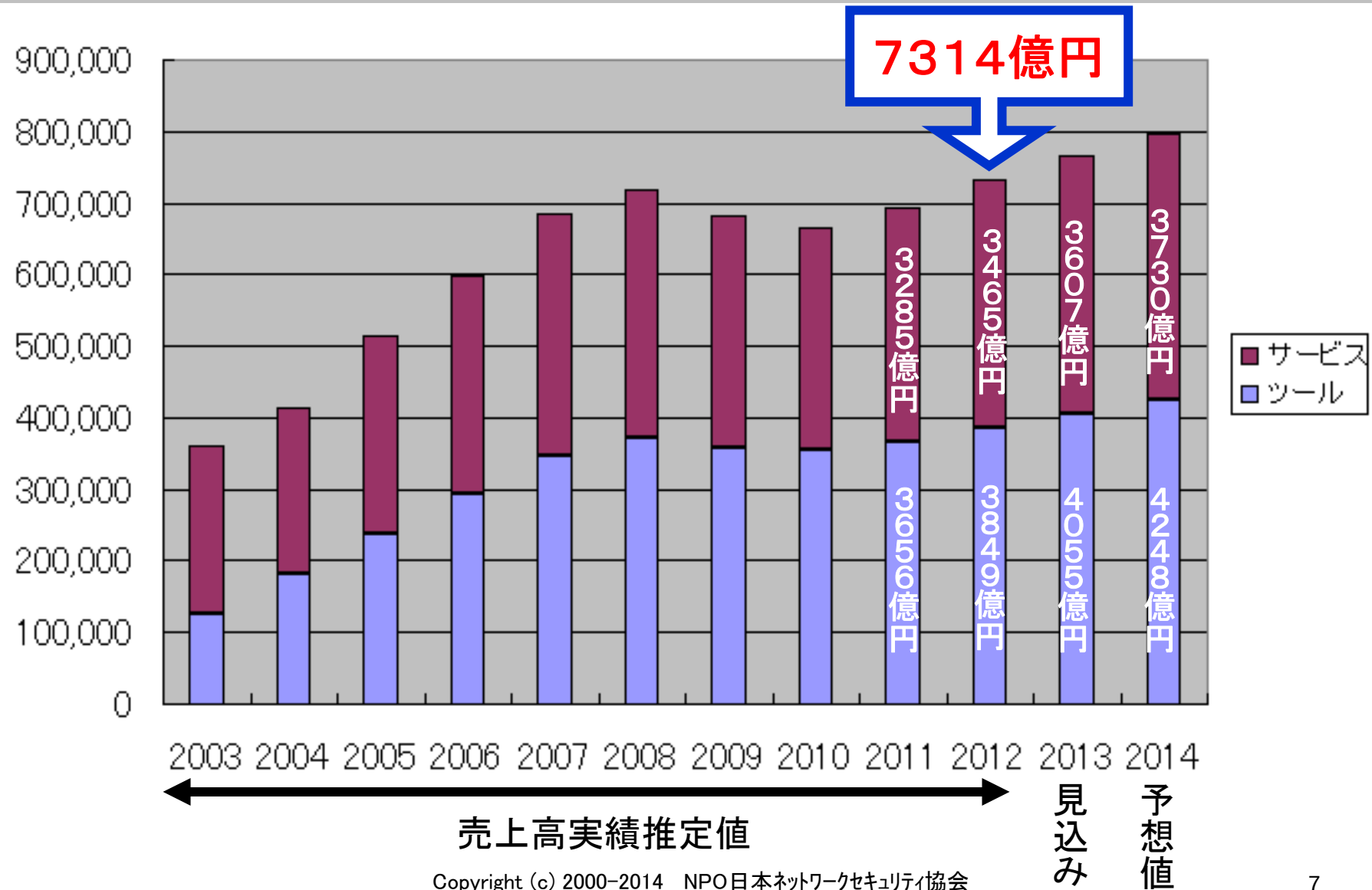
市場区分の定義



セキュリティツール	統合型アプライアンス	FW、IDS、ウイルス対策等複数機能を持ったアプライアンス
	ネットワーク脅威対策製品	FW、IDS/IPS、VPN、アプリケーションファイアウォール
	コンテンツセキュリティ対策製品	ウイルス対策、スパム対策、URLフィルタ、メールフィルタ、DLP等
	アイデンティティ・アクセス管理製品	認証、ログオン管理・アクセス許可、PKI製品
	システムセキュリティ管理製品	セキュリティ情報統合管理、ポリシー・アクティビティ管理ツール、脆弱性検査ツール 等
	暗号製品	暗号化製品、暗号モジュール
セキュリティサービス	情報セキュリティコンサルティング	ポリシー構築、監査・診断等セキュリティ管理全般コンサルティング、規格認証取得支援サービス
	セキュアシステム構築サービス	ITセキュリティの設計、導入、製品選定支援 等
	セキュリティ運用・管理サービス	マネージドサービス(ITセキュリティの監視、運用支援)、プロフェッショナルサービス、電子認証サービス 等
	情報セキュリティ教育	教育実施、コンテンツ提供、教育ASP、資格認定 等
	情報セキュリティ保険	情報セキュリティおよびITセキュリティ保険

※2013年度も、検討の結果、2011年度2012年度と同じになりました。

JNSAの情報セキュリティ市場調査推移



国内情報セキュリティ市場規模の暫定値 **JNSA**

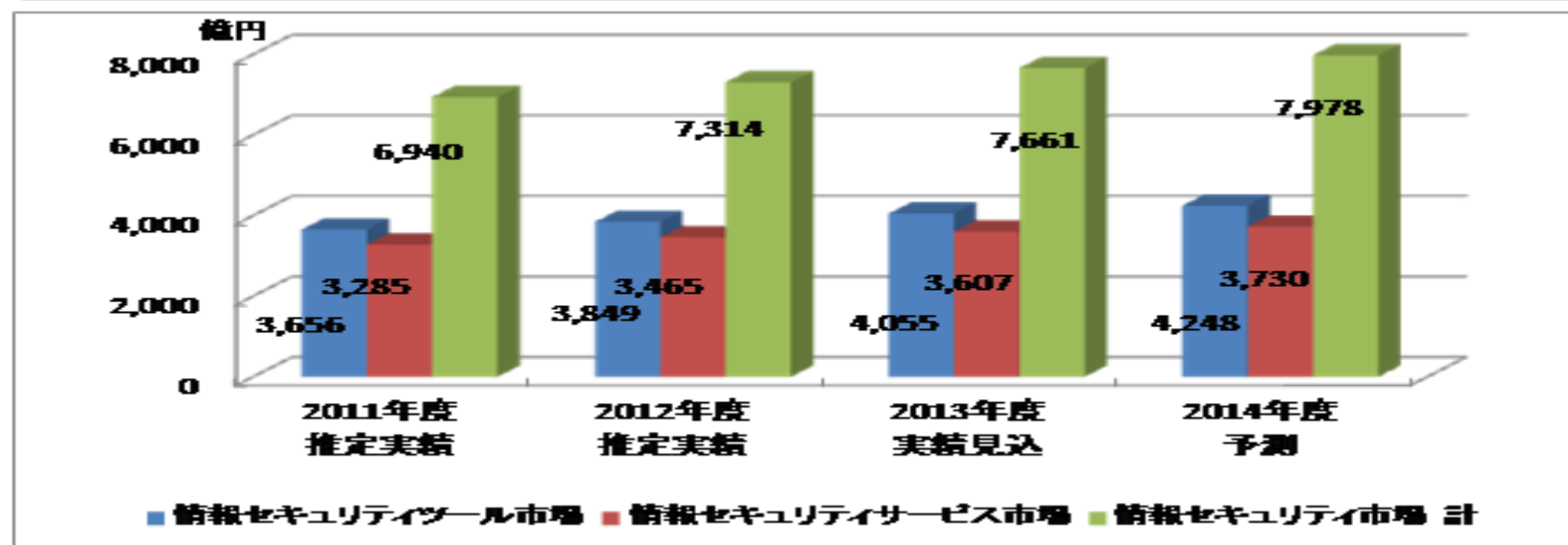
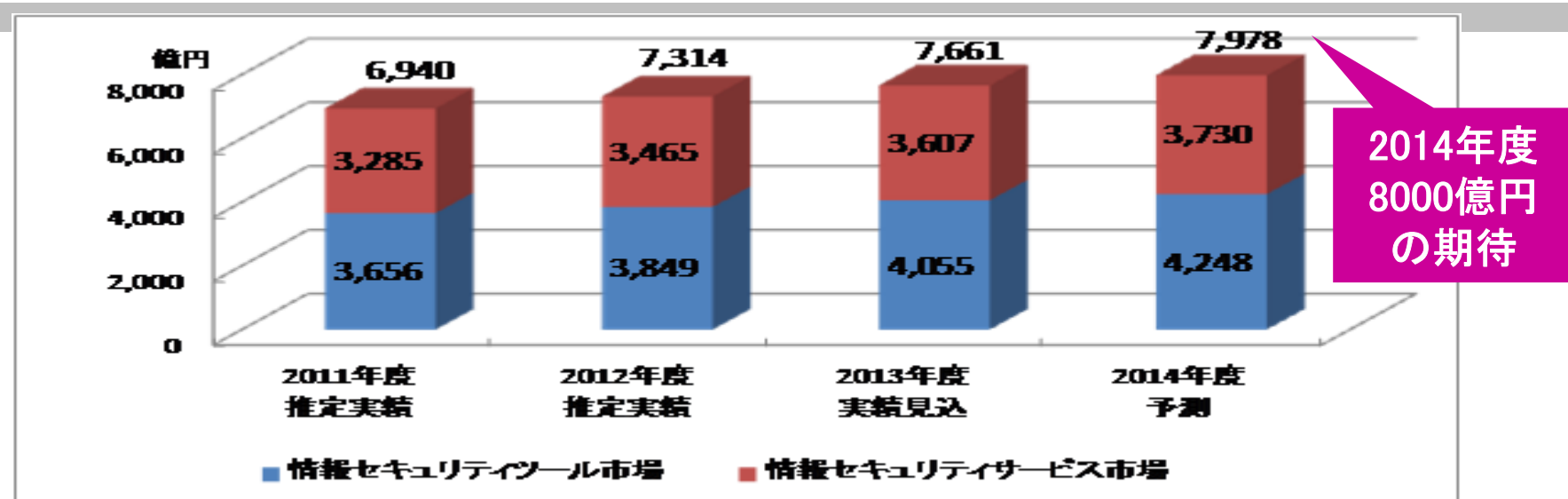
金額単位: 百万円

年度別売上高推計値	2011年度		2012年度			2013年度			2014年度			2011- 2014平 均伸び 率
セキュリティツール	売上実績推定値		売上実績推定値			売上高見込推定値			売上高予測値			
	金額	構成比	金額	構成比	前年比 伸び率	金額	構成比	前年比 伸び率	金額	構成比	前年比 伸び率	
統合型アプライアンス	19,229	5.3%	20,120	5.2%	4.6%	21,141	5.2%	5.1%	22,203	5.2%	5.0%	
ネットワーク脅威対策製品	49,924	13.7%	52,112	13.5%	4.4%	54,122	13.3%	3.9%	56,061	13.2%	3.6%	3.9%
コンテンツセキュリティ対策製品	139,299	38.1%	147,028	38.2%	5.5%	154,964	38.2%	5.4%	162,176	38.2%	4.7%	5.2%
アイデンティティ・アクセス管理製品	65,523	17.9%	68,846	17.9%	5.1%	71,791	17.7%	4.3%	74,534	17.5%	3.8%	4.4%
システムセキュリティ管理製品	51,747	14.2%	55,108	14.3%	6.5%	58,869	14.5%	6.8%	62,620	14.7%	6.4%	6.6%
暗号化製品	39,838	10.9%	41,693	10.8%	4.7%	44,572	11.0%	6.9%	47,235	11.1%	6.0%	5.8%
セキュリティツール製品	365,562	100.0%	384,907	100.0%	5.3%	405,460	100.0%	5.3%	424,829	100.0%	4.8%	5.1%
		52.7%		52.6%			52.9%			53.2%		

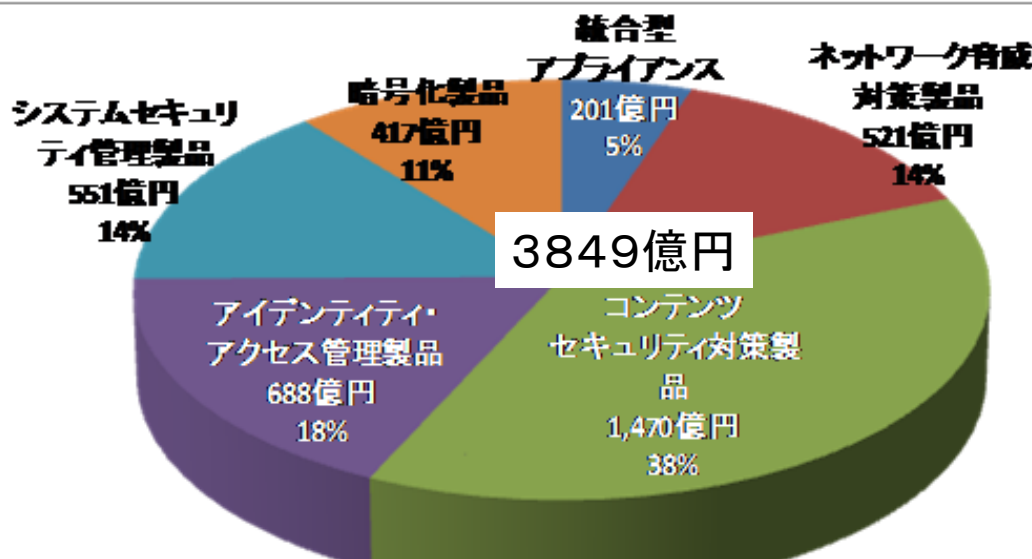
年度別売上高推計値	2011年度		2012年度			2013年度			2014年度			2011- 2014平 均伸び 率
セキュリティサービス	売上実績推定値		売上実績推定値			売上高見込推定値			売上高予測値			
	金額	構成比	金額	構成比	前年比 伸び率	金額	構成比	前年比 伸び率	金額	構成比	前年比 伸び率	
情報セキュリティコンサルティング	67,958	20.7%	70,165	20.3%	3.2%	72,249	20.0%	3.0%	74,250	19.9%	2.8%	3.0%
セキュアシステム構築サービス	129,395	39.4%	138,889	40.1%	7.3%	144,481	40.1%	4.0%	148,289	39.8%	2.6%	4.6%
セキュリティ運用・管理サービス	98,417	30.0%	103,189	29.8%	4.8%	108,747	30.2%	5.4%	114,397	30.7%	5.2%	5.1%
情報セキュリティ教育	25,237	7.7%	26,574	7.7%	5.3%	27,387	7.6%	3.1%	28,132	7.5%	2.7%	3.7%
情報セキュリティ保険	7,468	2.3%	7,640	2.2%	2.3%	7,799	2.2%	2.1%	7,930	2.1%	1.7%	2.0%
情報セキュリティサービス	328,475	100.0%	346,457	100.0%	5.5%	360,664	100.0%	4.1%	372,998	100.0%	3.4%	4.3%
		47.3%		47.4%			47.1%			46.8%		

セキュリティツール+サービス	694,036		731,364		5.4%	766,124		4.8%	797,827		4.1%	4.8%
		100.0%		100.0%			100.0%			100.0%		

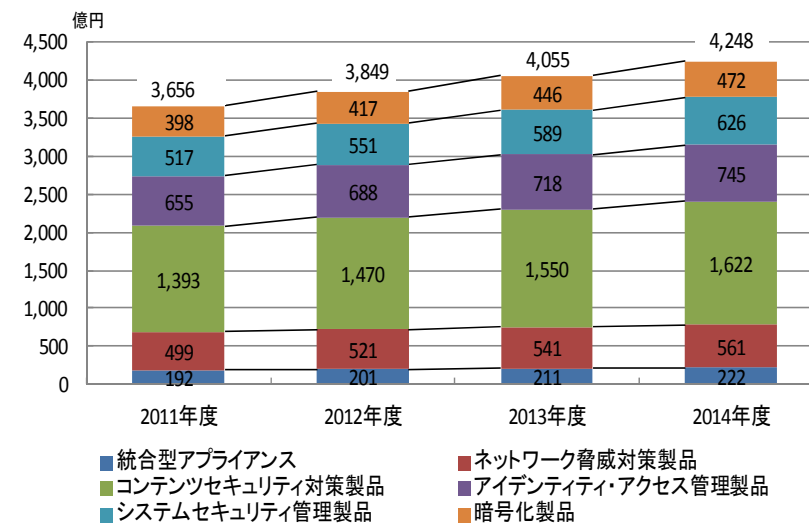
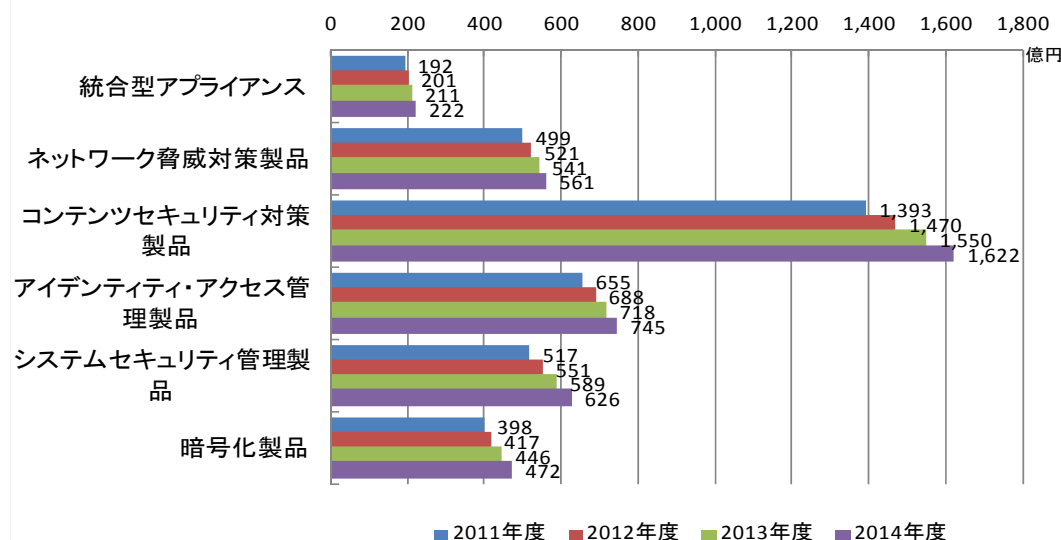
国内情報セキュリティ市場規模の暫定値



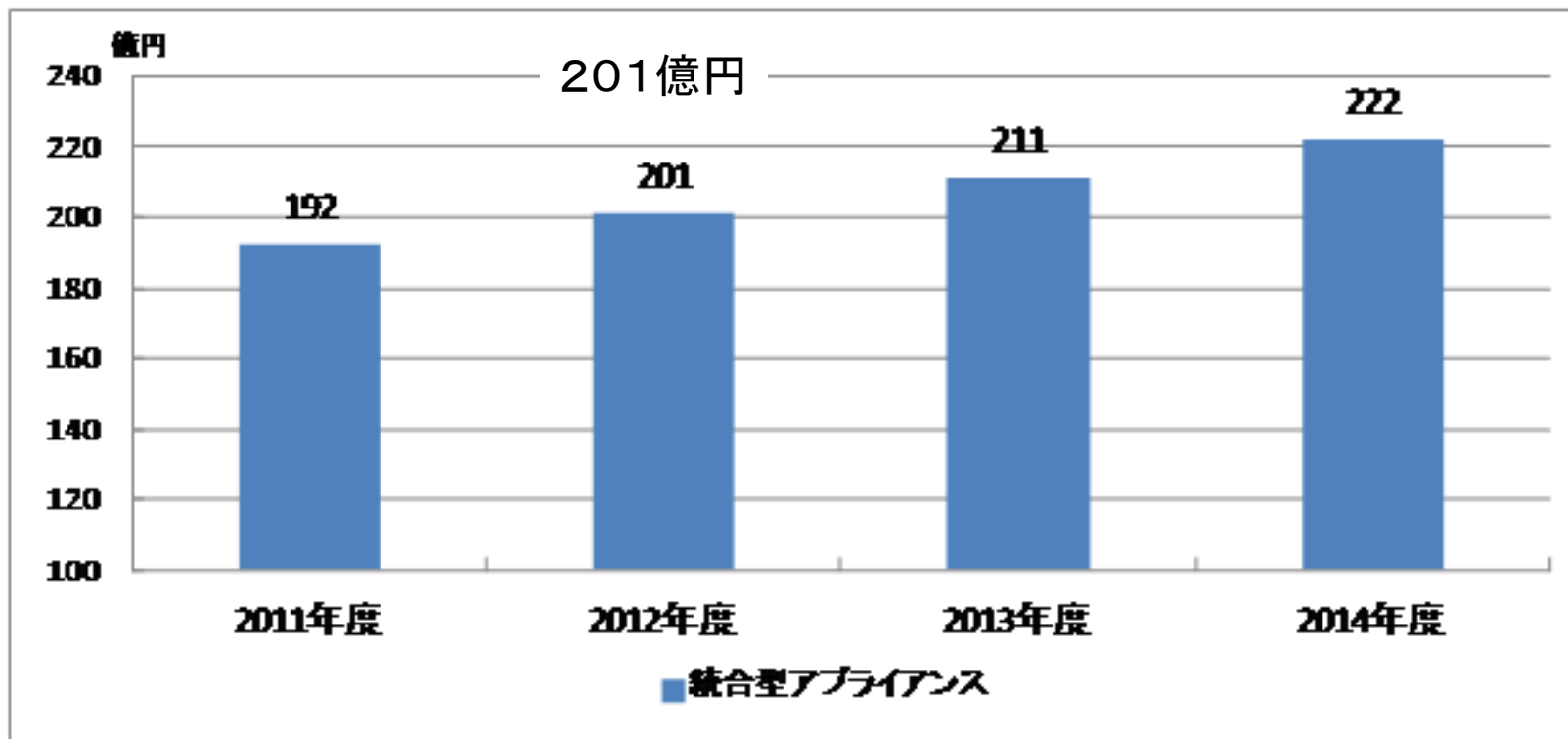
国内情報セキュリティツール市場推移



- ツール全体で2011年から5.3%の伸び。
- 伸び率の高かったカテゴリーは、システムセキュリティ管理製品とコンテンツセキュリティ対策製品。
- 標的型攻撃や情報流出対策の結果と推測される。

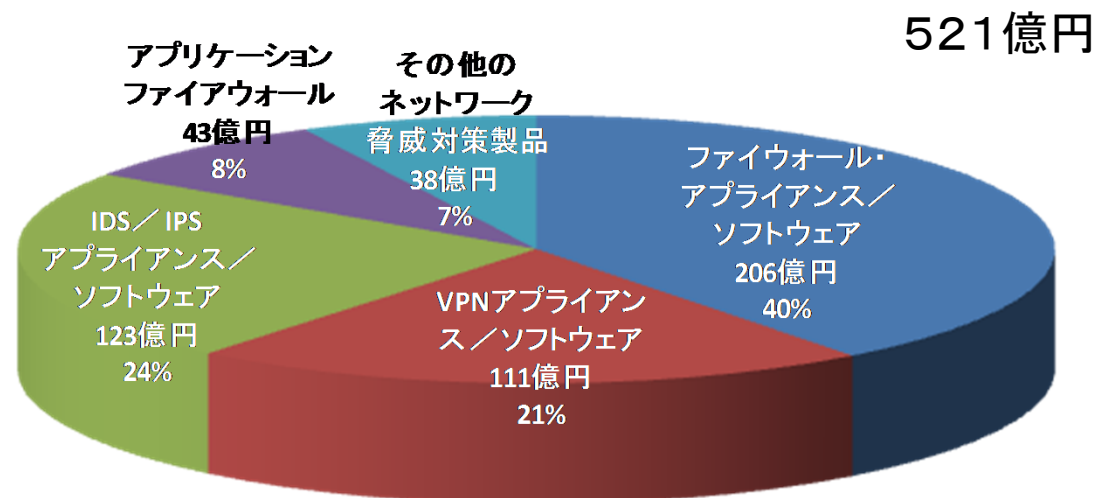


統合型アプライアンス



- いわゆるUTM製品が中心となるこのカテゴリは、普及もかなり進み、成熟しつつある市場。
- 標的型攻撃対策でアウトバウンド対策等、より高度化が求められている。
- そのため更新・増強等の需要が見られ、結果的に全体と同じ5%程度の伸びを示している。

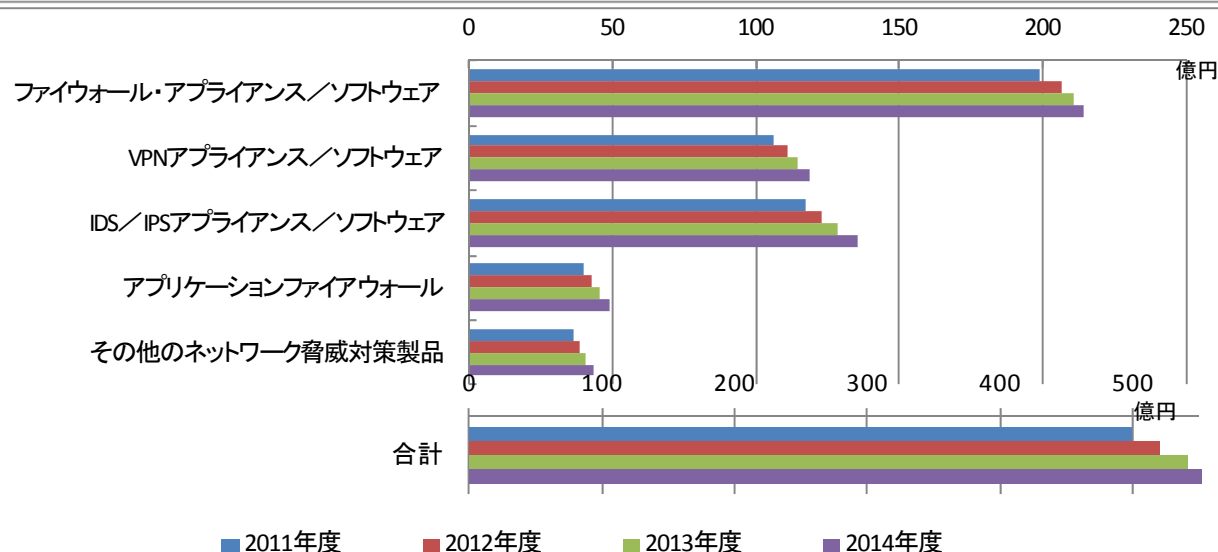
ネットワーク脅威対策製品



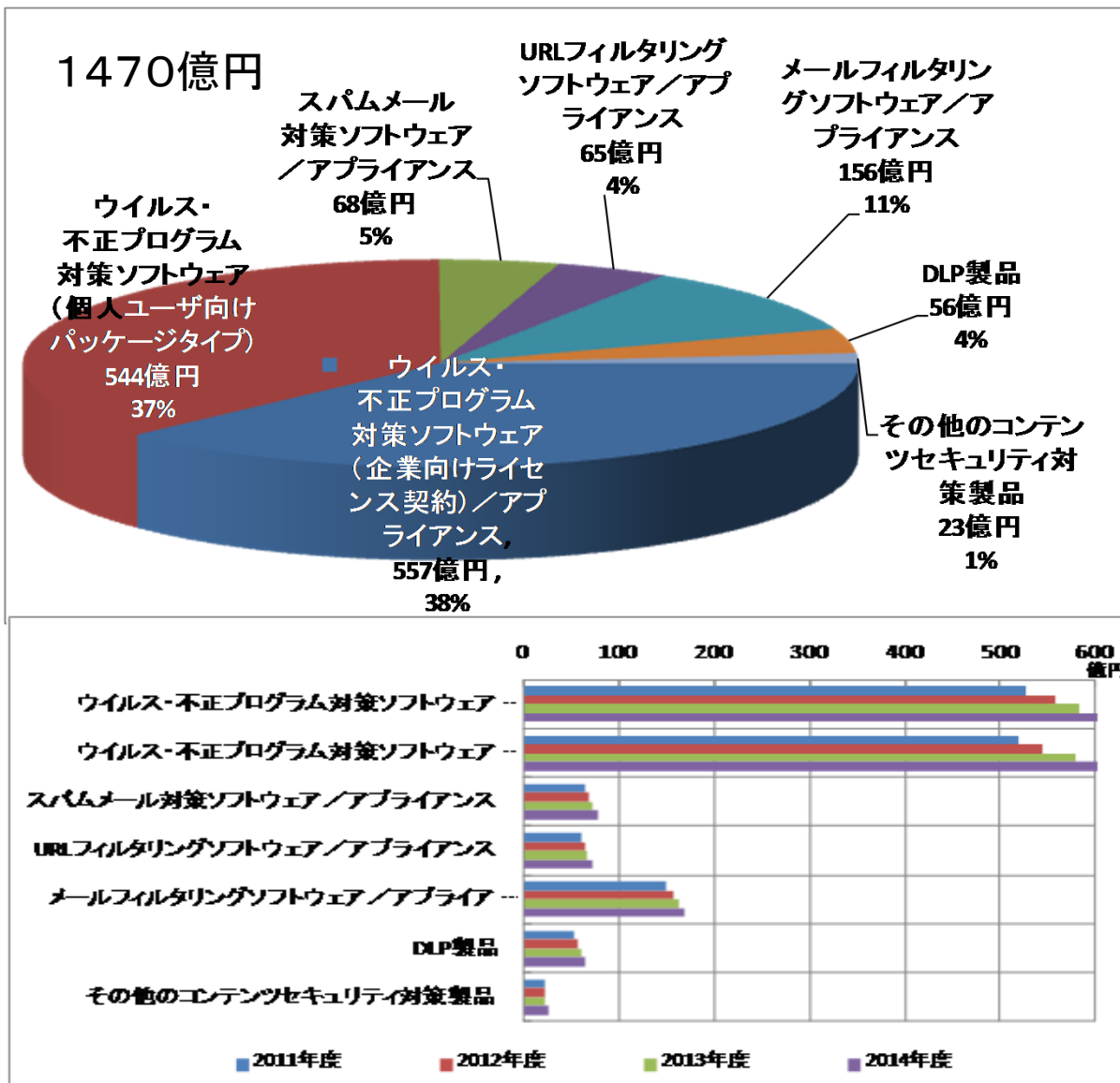
・2012年度のNW脅威対策製品全体では4.4%伸びて521億円

・IDS/IPS、アプリケーションFWの伸びが堅調。

・スマートデバイスの普及による売上増も視野に入れて調査を続行する。



コンテンツセキュリティ対策製品



・ウイルス対策ツールは、法人向けと個人向けが各々550億円前後と大きな市場を形成している。

・2012年～2013年度は、PCの更新需要もあり、また未対策だった中小事業所への浸透もあって、成熟市場の割に順調な拡大傾向を示している。

・URLフィルタリング、スパムメール対策、DLPが高い伸び率を示している。

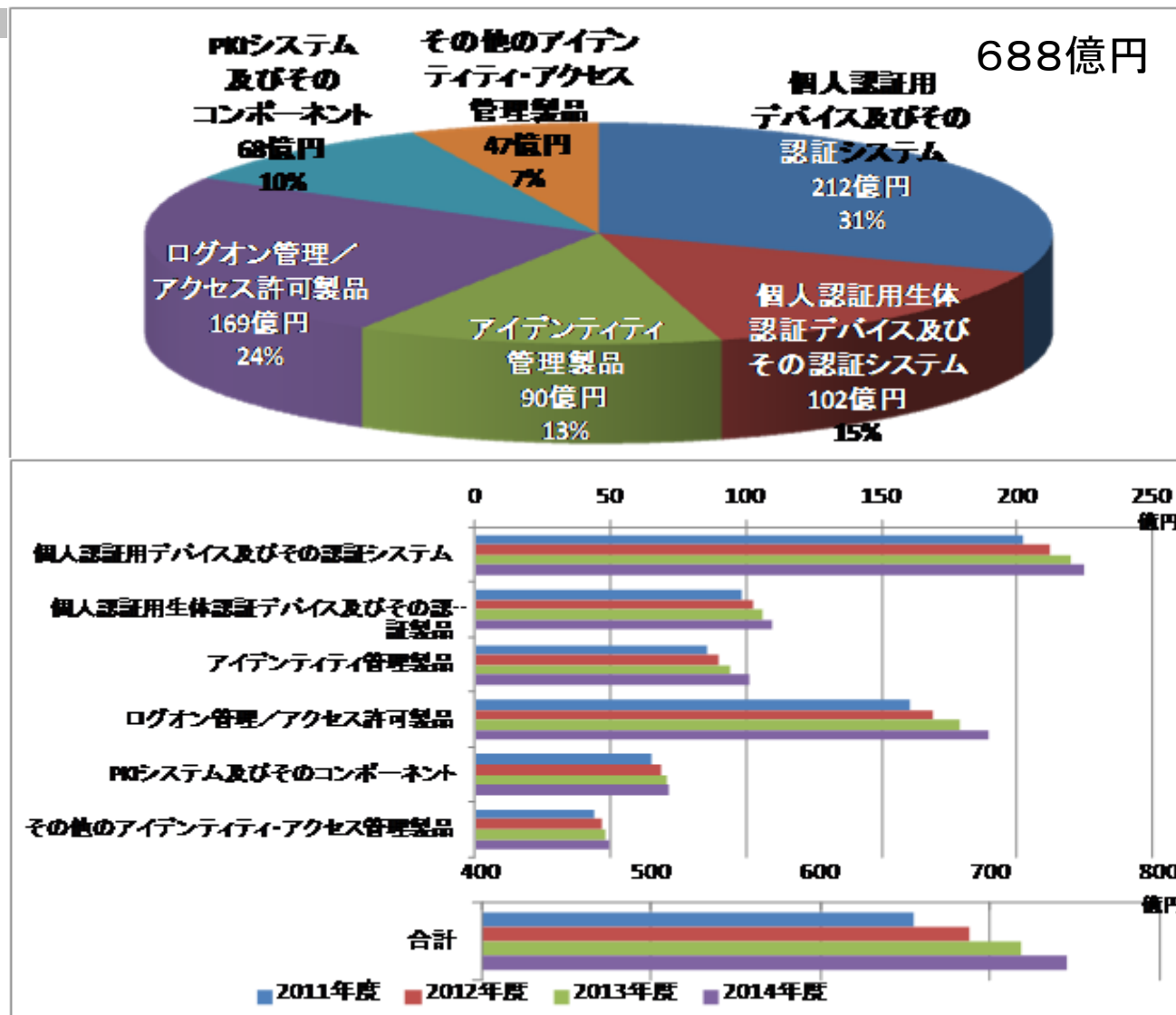
・スマートデバイスの市場の伸びが寄与し、全体として2013,2014年度も高い水準での伸びが期待できる。

コンテンツセキュリティ対策製品

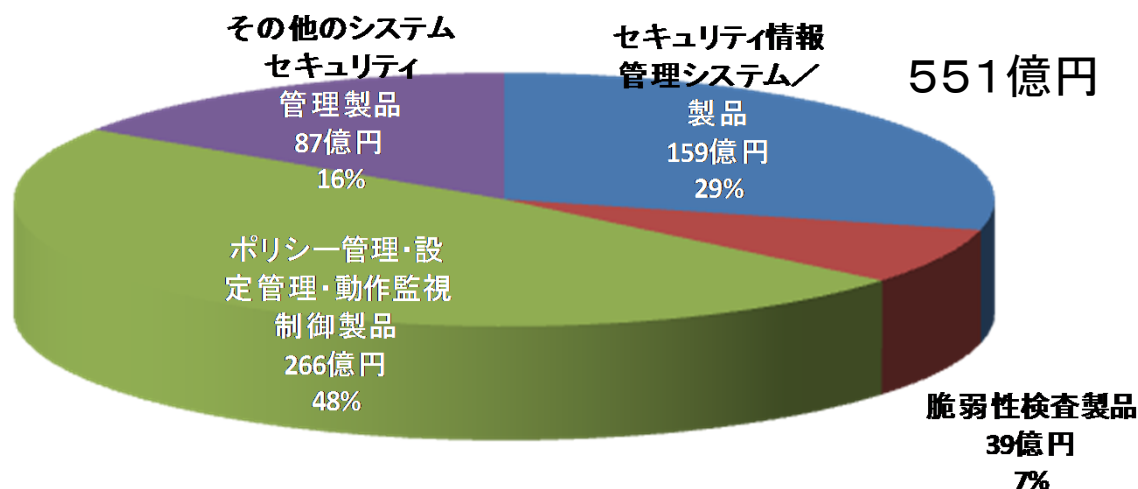
市場規模 (億円)	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度
合計	1,393億円	1,470億円	1,550億円	1,622億円

アイデンティティ・アクセス管理製品 JNSA

- 標的型攻撃対策で、内部対策の要となるのが、この分野の製品。
- 認証用デバイスと、ログオン管理・アクセス許可製品がその主力。
- 2012年度は全体で5.1%伸びた。
- PKIシステムも堅調な推移。
- クラウドの普及も一役買っている。



システムセキュリティ管理製品

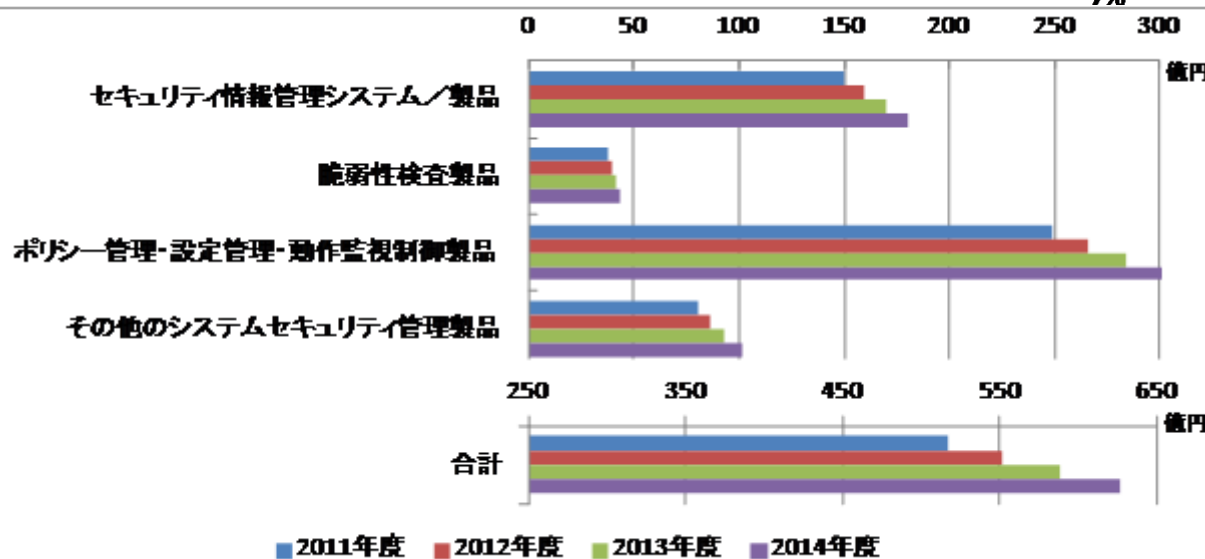


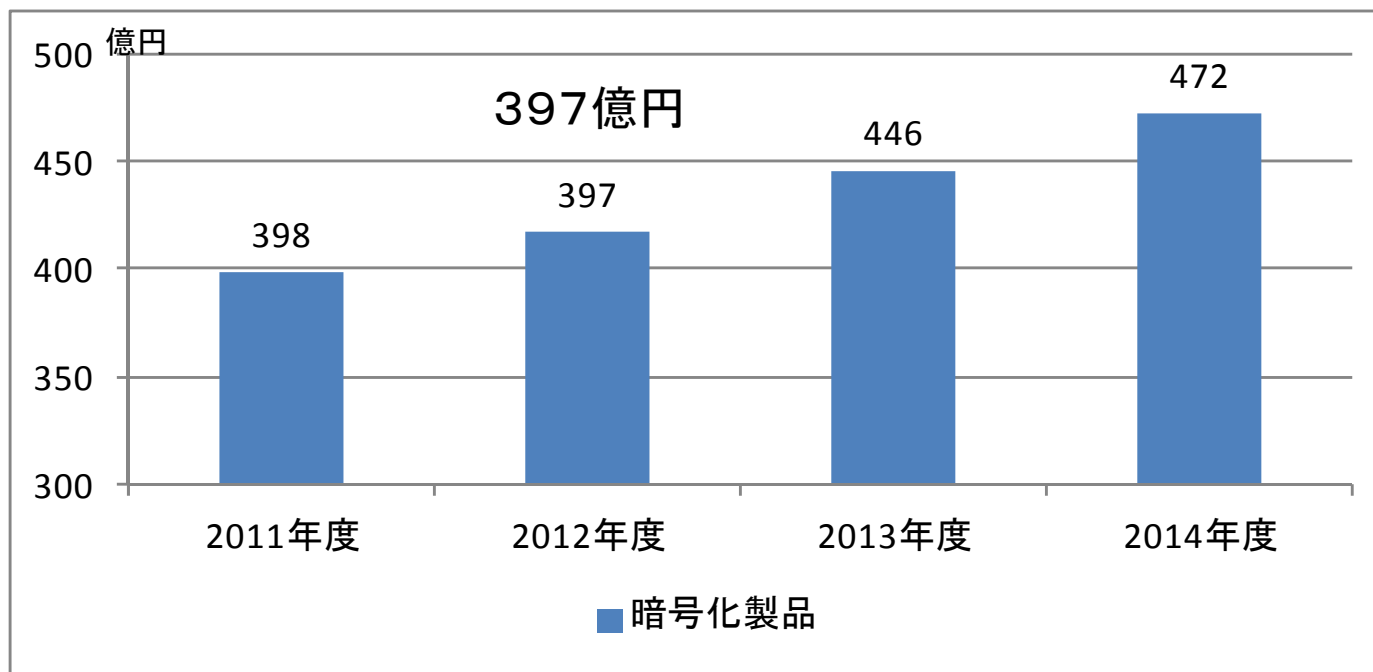
•セキュリティツールの中で6%台の高い伸びを示し、+2012年度は551億円の規模となったと推測する。

•標的型攻撃対策として、内部ネットワークトラフィックの異常を常時監視する「セキュリティ情報管理システム」の需要が大きい。

•また、端末のポリシーや動作を監視・管理する「ポリシー管理・設定管理・動作監視制御製品」はモバイルデバイス対策もあって需要が拡大している。

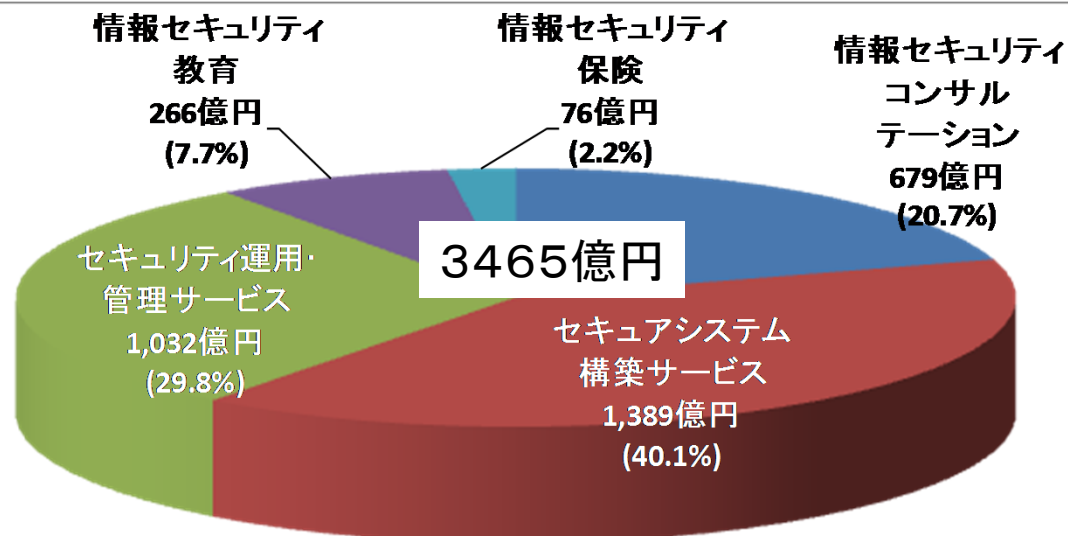
•その他に含めているログ解析ツールも需要の伸びは大きい。



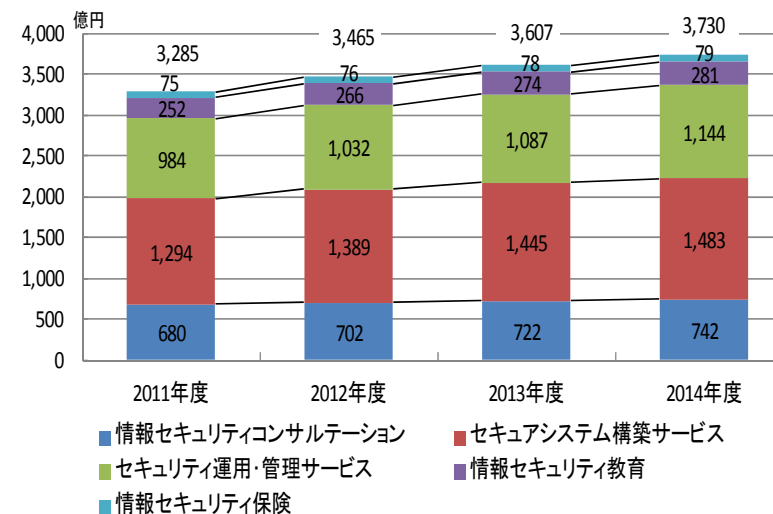
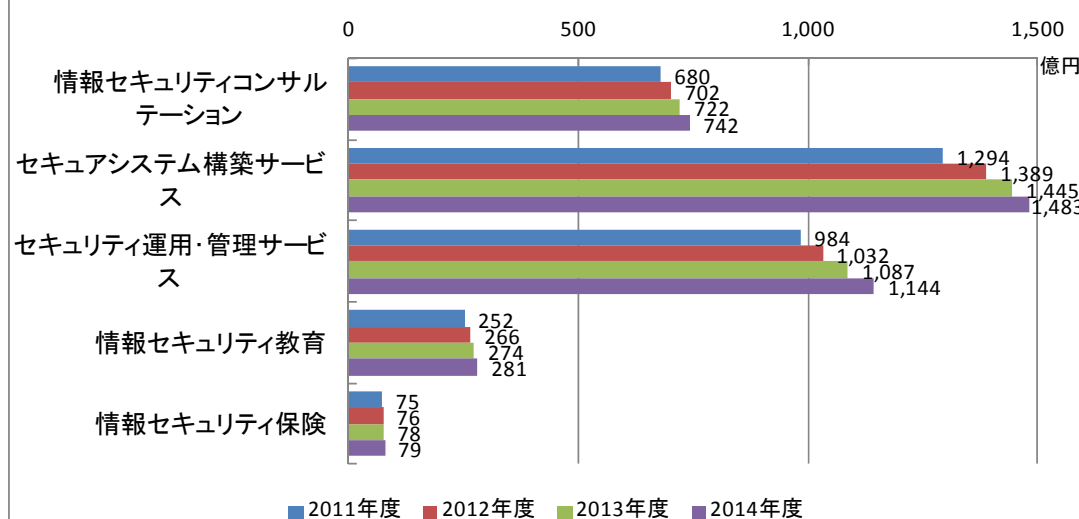


- 2010年度調査から、データ暗号化製品単一分類として調査しているが、情報漏えい対策、知的財産保護対策、標的型攻撃の出口対策として、新たな商品展開や高い需要の伸びが予想される。
- クラウドの利用浸透も需要拡大要因と考えられる。

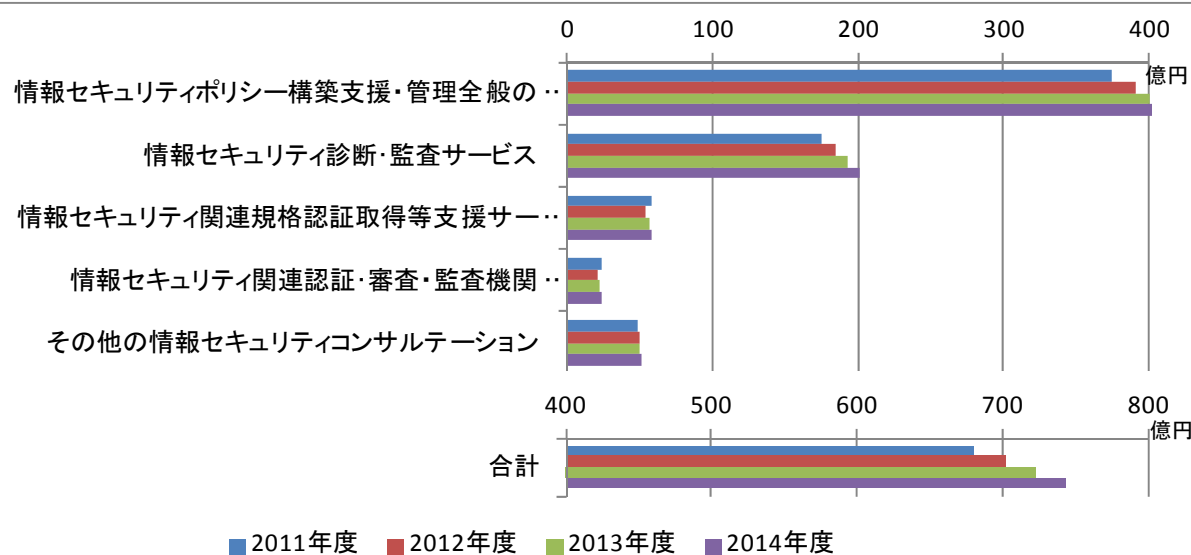
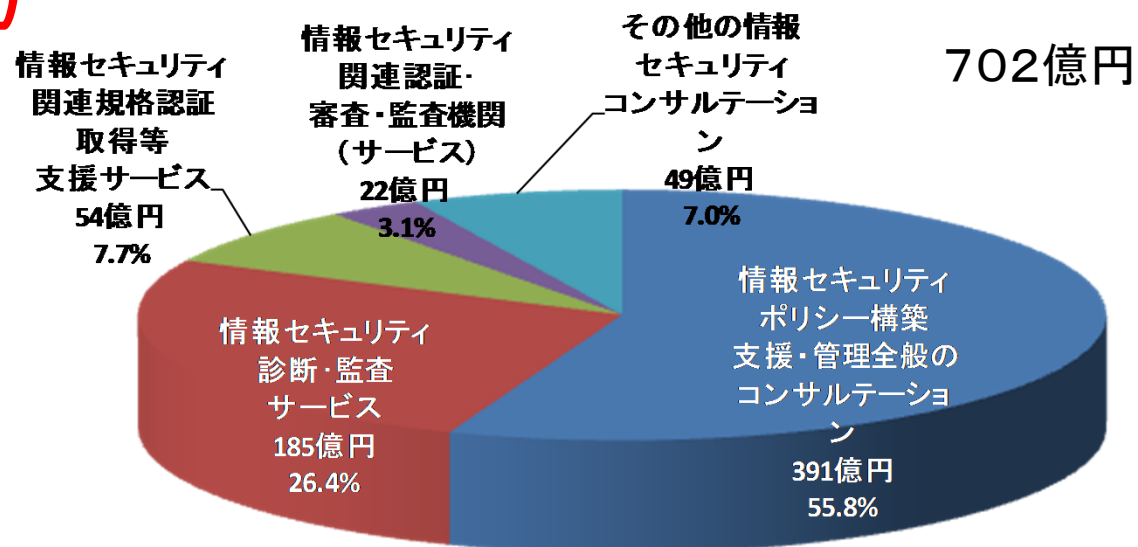
情報セキュリティサービス市場推移



- ・前年比5.5%伸び3465億円
- ・システム構築サービスが最大。標的型攻撃対策などで需要が伸びた。
- ・スマートデバイスを用いた社内システム運用対応した需要、景気・業績回復が後押しされていると思われる。



情報セキュリティコンサルテーション JNSA

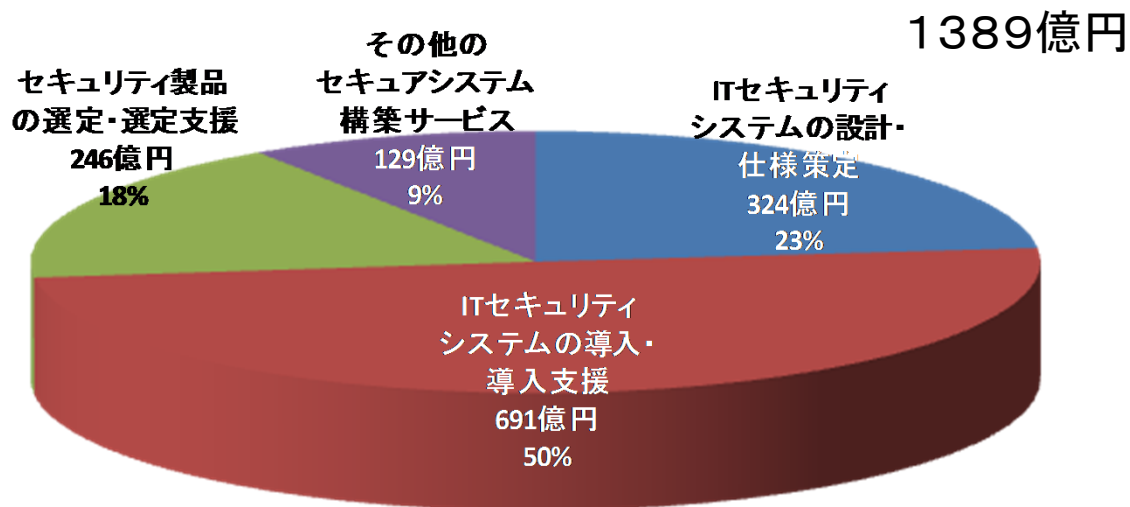


・コンサルテーションと診断サービスが回復し、全体で3.2%前年より22億円増えて700億円の大台乗せ。

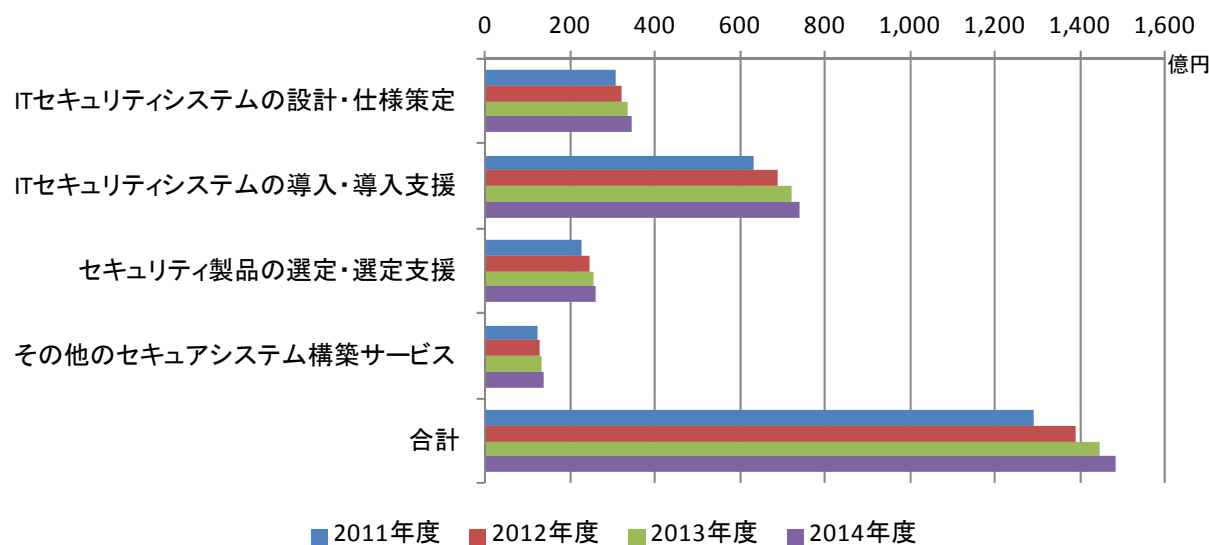
・ただし、情報セキュリティ関連規格認証取得等支援サービスが2011年度比マイナス6.8%、情報セキュリティ関連認証・審査・監査機関(サービス)がマイナス7.5%とISMS取得の一巡により停滞。2012年が底と見られる。

・セキュリティ対策の総合的再構築のための診断やコンサル需要は堅調。

セキュアシステム構築サービス

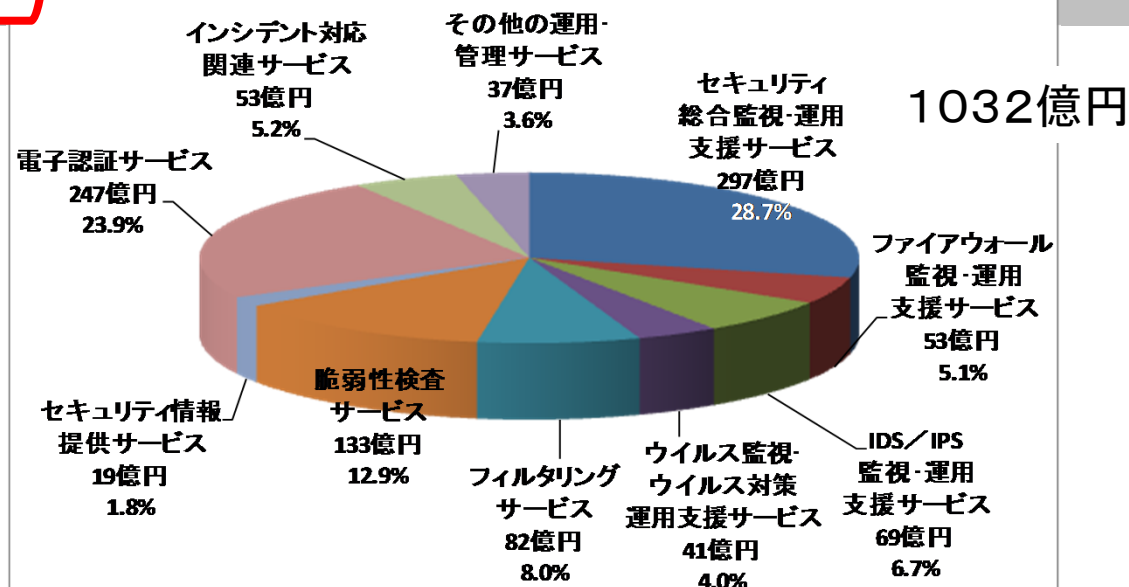


- 全体で1500億円近い大市場だった(2008)ものが、1200億円強の規模まで縮小。
- 2012年度は全体で7.3%の高い成長で1389億円まで回復。
- 2014年度でほぼ1,483億円となりV字回復を遂げる予想。



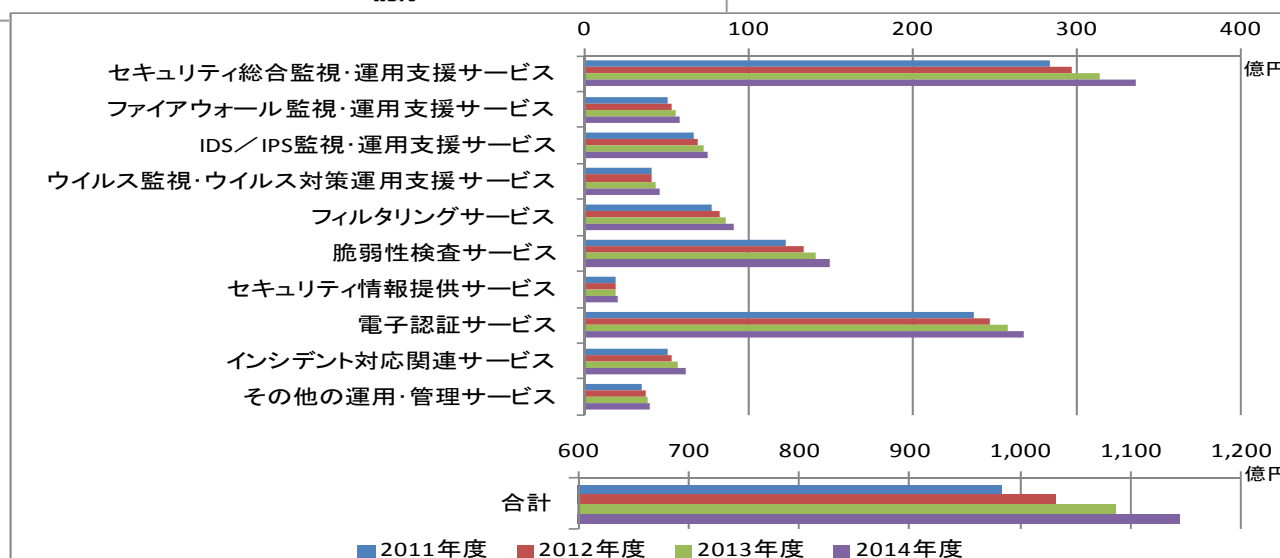
- これは、セキュリティ対策の総合的再構築需要が後押しした結果。
- 今後はサイバー脅威対策、スマートデバイスやクラウド環境でのセキュリティSI需要が生まれ回復を後押しする？

セキュリティ運用・管理サービス

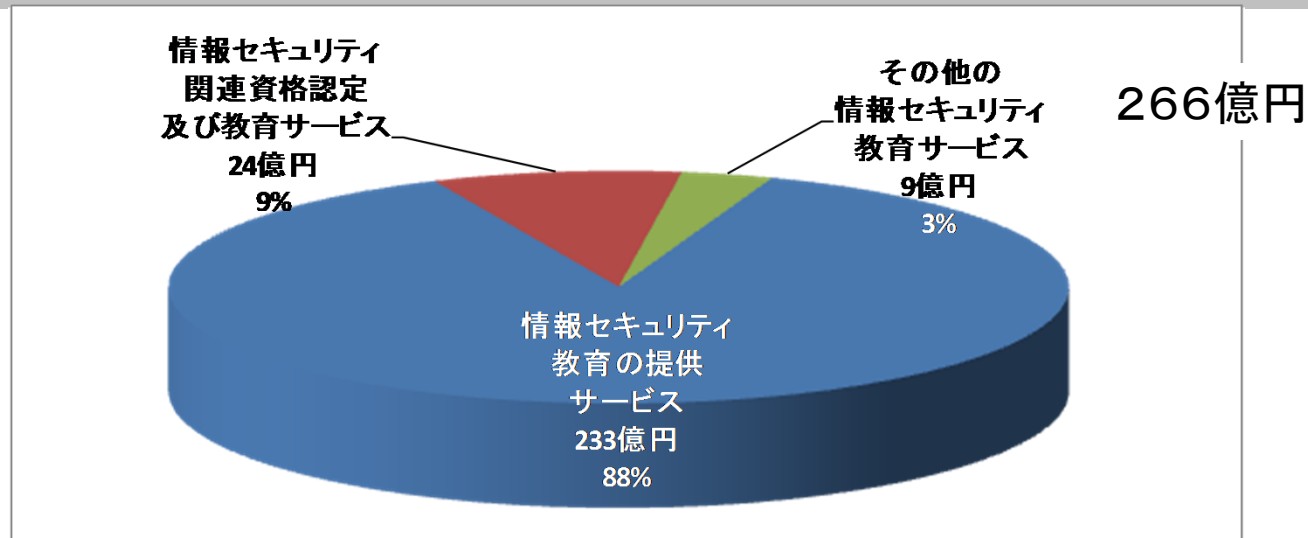


・専門サービスへのアウトソース化の流れで、全体で1000億円を超える大市場に成長した。

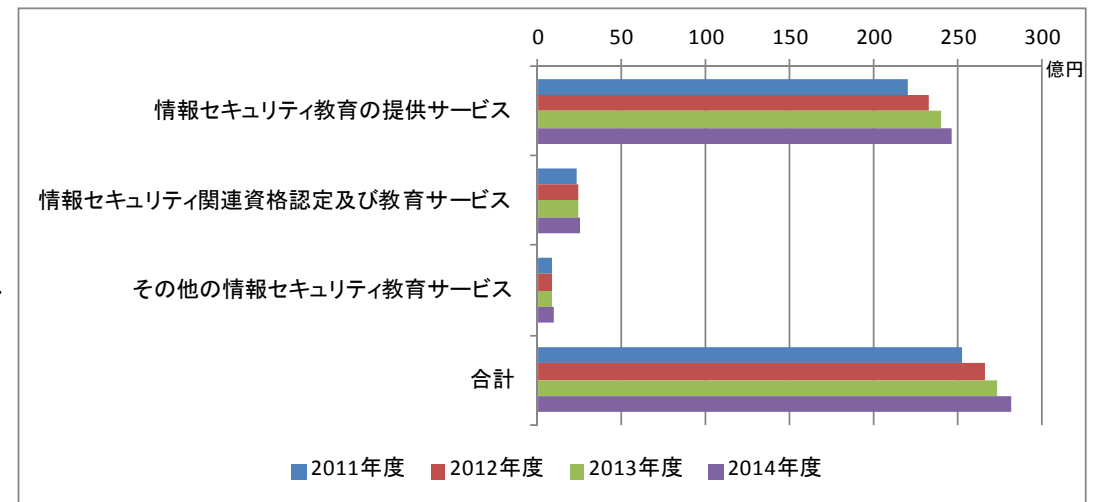
・総合監視・運用支援～フィルタリングまでのマネージドサービスが約5割、残りを脆弱性検査などのプロフェッショナルサービスと電子認証サービスが半分ずつ占める。



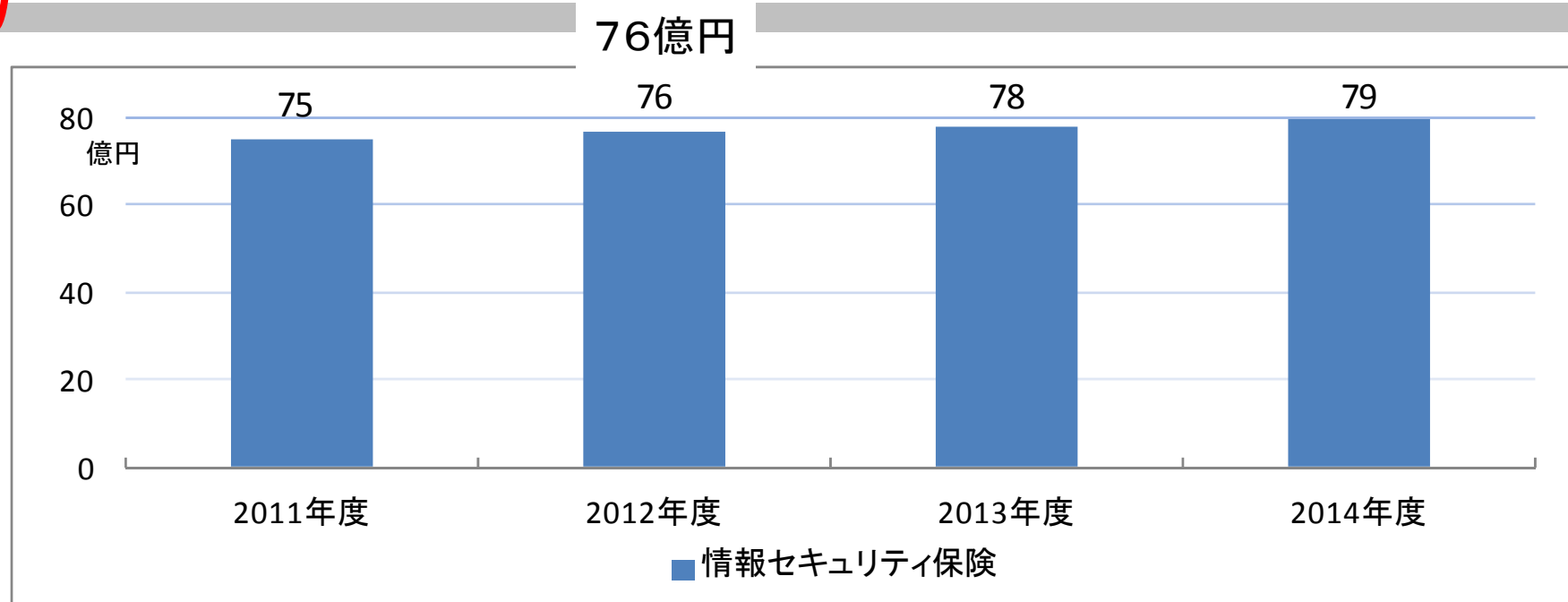
情報セキュリティ教育



- 2010年度を底に回復基調。
- 情報漏洩対策、標的型攻撃対策、スマートデバイス・BYOD対策、異業種の交流など、セキュリティに関する教育の需要が拡大。
- 政府が情報セキュリティ人材育成に注力したことも追い風になるか。



情報セキュリティ保険



- 情報セキュリティ保険は、ほぼ80億円手前で市場規模が安定していると思われる。
- 今後、保険会社における新たな保険商品やサービスが出てこない限り、この規模で推移すると思われる。

情報セキュリティにおける新しい課題と動き



・2013年度セキュリティ10大ニュース（JNSA発表：項目抜粋）

- ビッグデータの利活用には疑問・不安の解消が不可欠
- サイバーテロ攻撃
- Windows XPサポート終了への対応遅れ 試されるセキュリティマネジメント
- 高度化する標的型攻撃、日本向け攻撃
- アカウントリスト型ハッキング
- Webサイト改ざんの多発
- ネット選挙～成りすまし対策～
- 国家権力による盗聴
- バカッター問題
- インターネットバンキング不正送金被害

・スマートデバイスのセキュリティ事情

- スマートフォンを狙った標的型攻撃
- Apple IDを狙ったフィッシング詐欺の急増

これらをもとに
今年度の
トピックスを
次の通り
決定しました。

2013年度におけるネットワークの脅威の動向

・・・勝見 勉様 執筆(WGメンバー)

Internet of Thingsのセキュリティ

・・・二木 真明様 執筆(WGより依頼)

報告書の完成

はじめに

【第一部 情報セキュリティ市場調査結果】

第1章 国内情報セキュリティ市場の実態概要

第2章 国内情報セキュリティ市場調査結果の詳細とその分析

各市場の調査結果

第3章 情報セキュリティにおける新しい課題と動き

執筆2件

【第二部 情報セキュリティ市場調査の事業概要と結果に関する考察結果】

第4章 調査の概要

第5章 情報セキュリティ市場の分類および定義

第6章 情報セキュリティ市場参入事業者の業態と産業構造

第7章 情報セキュリティ市場および産業の状況と、変化をもたらす要因

7.1. マクロ経済指標と企業経営環境等に関する統計データ

7.2. 企業・組織のIT支出ビヘイビア

7.3. 情報セキュリティに関わる外部環境変化

7.4. 産業としての課題

おわりに

今後の予定～メンバー募集！





2014年 6月10日

JNSA2013年度

セキュリティ市場調査報告書（成果発表会用資料）

<http://www.jnsa.org>
sec@jnsa.org

END